

施策名：信頼される学校づくりの推進

事業名	担当課・室名	ページ
「芯の通った学校組織」定着推進事業	教育改革・企画課	1 / 7
高等学校等奨学金貸与事業	教育財務課	2 / 7
公立高等学校等奨学金給付事業	教育財務課	3 / 7
地域の高校活性化支援事業	高校教育課	4 / 7
私立幼稚園運営費補助	こども未来課	5 / 7
私立幼稚園保育料減免補助	こども未来課	6 / 7
私立学校運営費補助	私学振興・青少年課	7 / 7

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	「芯の通った学校組織」定着推進事業		事業期間	平成26年度～平成28年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造		
				施策区分	信頼される学校づくりの推進				
総合評価	A 終了		事業実施課(室)名	教育改革・企画課		評価者	教育改革・企画課長 能見 駿一郎		

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	平成24年度以降、校長のリーダーシップの下、全ての教職員が目標達成に向けて組織的に教育活動に取り組む「芯の通った学校組織」の構築を進め、組織的な授業改善などが進んできた。一方、目標達成に向けた取組の検証や一層の改善が求められる。	事業の目的	「芯の通った学校組織」の取組の一層の定着を図るため、全ての学校関係者にその趣旨を更に浸透させる。
-------	--	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①改革のキーパーソンの力量向上 学校改革推進協議会開催による情報の共有	①	322	総コスト	11,200	10,603	
②目標協働達成の取組の普及 学校・家庭・地域の協働による目標達成に向けた取組が県内全小・中学校に普及するよう、地域別目標協働達成協議会を開催。	②	228	事業費	1,200	603	
③大学との連携・協力による「組織人としての教員」の育成 県教育委員会と県内7大学の連携協定に係る連絡協議会の開催	③	53	(うち一般財源)	1,200	603	
	④		人件費	10,000	10,000	
	計	603	職員数(人)	1.00	1.00	

活動指標	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価割合	指標名(単位)		達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価割合	評価
	教務主任会議等での指導回数(回)		目標値	60	60		60		60	53%	連絡協議会実施回数(回)		目標値	1	1		
		実績値	63	61		61	61				実績値	1	1		1		
		達成率	105.0%	101.7%		101.7%	101.7%				達成率	100.0%	100.0%		100.0%		
地域別目標協議達成協議会の開催回数(回)		目標値		6		6	6	38%			目標値						
		実績値		6		6	6				実績値						
		達成率		100.0%		100.0%	100.0%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(28年度)	評価	事業の成果
学校評価に基づく改善策に関する家庭・地域との協議の実施率(小中平均)(%)	目標値		22.4	26.0		26.0	a	平成28年8月に実施した「芯の通った学校組織」定着状況等調査結果によれば、学校の重点目標を達成するために家庭や地域が行う取組を設定する学校が7割を超えるなど、学校・家庭・地域の協働が進んだ。
	実績値		31.8	35.9		35.9		
	達成率		142.0%	138.1%		138.1%		

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・学校現場における教職員の世代交代が加速する中、喫緊の課題である学校の組織的課題解決力の維持・向上に向けた、取組の継続・徹底と更なる「質」の向上	今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> 「芯の通った学校組織」を基盤として教育水準の向上を図り、「教育県大分」の創造に道筋をつけるため、「『芯の通った学校組織』推進プラン 第2ステージ～大分県版『チーム学校』実現プラン～」に沿って取組の深化を推進 			

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	高等学校等奨学金貸与事業	事業期間	平成14年度～平成 年度	政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
総合評価	A	事業実施課(室)名	教育財務課	施策区分	信頼される学校づくりの推進
	継続・見直し			評価者	参事監兼教育財務課長 森崎 純次

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	学ぶ意欲のある高等学校等の生徒が、保護者の経済的理由により修学の機会を失いかねない状況がある。	事業の目的	奨学金の貸付原資を(公財)大分県奨学会へ貸し付けることにより、学ぶ意欲のある高等学校等の生徒の教育機会を確保する。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①大分県高等学校等奨学金の貸与 高等学校等一般奨学金(1,968人) 高等学校等通学費等奨学金(62人) 高等学校等入学支度金(422人) 大学奨学金(240人)	①	39,456	総コスト	65,610	56,065	46,850
	②	6,238	事業費	64,010	54,465	45,250
	③	5,266	(うち一般財源)	43,000	38,751	34,047
	④		人件費	1,600	1,600	1,600
②大分県高等学校等奨学金運営事業 高等学校等奨学金貸与事業の運営に要する経費(事務費)に対する補助(公益財団法人大分県奨学会)						
③大分県高等学校等奨学金債権管理委託事業 委託先：公益財団法人大分県奨学会	計	50,960	職員数(人)	0.16	0.16	0.16

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	高等学校等一般奨学金の新規採用者数(人)	目標値	621	555				77%	奨学金の返還率(%)	目標値	74.1	74.1	74.1		
	実績値	621	555				実績値			73.7	72.8				
	達成率	100.0%	100.0%				達成率			99.5%	98.2%				
高等学校等一般奨学金の貸付額(千円)	目標値	641,017	570,855				12%		目標値						
	実績値	641,017	570,855						実績値						
	達成率	100.0%	100.0%						達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
高等学校等一般奨学金の貸与者数(人)	目標値	2,178	1,968				a	修学のため経済的支援を必要とする生徒へ奨学金を貸与し、教育の機会を確保した。 ※奨学金の貸与を希望するすべての対象者に支給しており、目標値設定に馴染まない。
	実績値	2,178	1,968					
	達成率	100.0%	100.0%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 奨学金返還対象者数の急増による滞納額の増加 平成29年度からの国の大学奨学金制度見直しの影響等を踏まえた給付金制度の導入等制度の在り方や貸付規模の検討 	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 学ぶ意欲のある生徒が、保護者の経済的理由により修学の機会を失うことがないよう事業を継続 奨学金原資を確保していくため、債権回収に精通した人材を配置するなど、引き続き債権管理(滞納対策)を徹底 子どもの貧困対策の一環として、平成29年度新規採用者の大学奨学金定員100名を確保 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	公立高等学校等奨学金給付事業		事業期間	平成26年度～平成 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
	A			事業実施課(室)名	教育財務課	施策区分	信頼される学校づくりの推進
総合評価	継続・見直し		事業実施課(室)名	教育財務課	評価者	参事監兼教育財務課長 森崎 純次	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	平成26年度から高等学校等における教育に係る経済的負担の軽減を図ることなどを目的とした「就学支援金制度」が実施され、所得が一定額未満の世帯(年収約910万円未満の世帯)では授業料が実質無償となっているが、授業料以外の教育費負担は依然として大きく、特に低所得世帯については教育に係る経済的負担が十分に軽減されていない。	事業の目的	全ての意志ある高校生等が安心して教育を受けられるよう、高校生等がいる低所得世帯を対象に支援を行い、授業料以外の教育費負担の軽減を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①奨学給付金の支給 受給対象者への奨学給付金の支給(3,509人)	①	320,860	総コスト	167,881	277,993	338,730
	②		事業費	167,081	277,193	337,930
	③		(うち一般財源)	111,386	184,796	225,287
	④		人件費	800	800	800
	計		320,860	職員数(人)	0.08	0.08

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	受給対象者に対する給付金の支給額(千円)	目標値		167,081	277,193			100%	目標値						a
実績値			167,081	277,193			実績値								
達成率			100.0%	100.0%			達成率								
目標値								目標値							
実績値								実績値							
達成率								達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
支給者数(人)	目標値		2,432	3,509			a	審査業務を適時・適切に行い、全ての受給対象者に対して奨学給付金を給付することができた。 ※すべての受給対象者に給付しており、目標値設定に馴染まない。
	実績値		2,432	3,509				
	達成率		100.0%	100.0%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・早期給付を望む保護者等に配慮するため、審査体制の見直しを検討	今後の事業方針 ・低所得世帯の教育費負担を軽減するため、早期給付に向けた事務処理体制を整備				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	地域の高校活性化支援事業		事業期間	平成28年度～平成30年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造			
						施策区分	信頼される学校づくりの推進			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	高校教育課		評価者	高校教育課長 姫野 秀樹			

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	少子高齢化の進行に伴い、生徒数の更なる減少が見込まれる中、地域の高校においては、地元で信頼され生徒から選ばれる魅力ある学校づくりが喫緊の課題である。	事業の目的	地域の高校が、地元住民や中学校と連携し、生徒の学力向上や魅力・特色ある学校づくりの取組を企画・実施することにより、地元で信頼され生徒に選ばれる魅力ある学校づくりや、地域の活力となる学校づくりを推進する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①地域との連携による学校魅力化・特色化プロジェクト ・地域や中学校と連携し、魅力・特色ある学校づくりに取り組む学校を支援 ・対象：大分・別府市以外の高等学校から指定(11校) ・下記2つのプロジェクトを各学校で策定 「学力向上プロジェクト」 ・中高連携による学力向上、授業力向上や外部講師と連携した学力養成講座など 「学力向上プラスワンプロジェクト」 ・地域資源を活かし、地域の魅力を発信する外国語版パンフレットやCM作成など	①	20,000	総コスト		29,071	30,000
	②		事業費		19,071	20,000
	③		(うち一般財源)		19,071	20,000
	④		人件費		10,000	10,000
	計		20,000	職員数(人)		1.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	指定校における中学生の体験入学者数(人)	目標値			1,872	2,400		2,640	100%	目標値					
	実績値			2,107				実績値							
	達成率			112.6%				達成率							
	目標値							目標値							
	実績値							実績値							
	達成率							達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果			
	大分・別府市以外の高等学校における入試欠員数(人)	目標値			191	172		155	a	地域と連携した学習活動や、地元へのPRなどを通して、中学生の体験入学者が増加した。また、平成29年度の高校入試において、欠員がある学校が前年の13校から3校減り、10校となった。さらに、地元住民等との触れ合いを通して、生徒のコミュニケーション能力の向上等につながっていることが、授業等を通じて伺える。	
	実績値			209							
	達成率			90.6%							

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 進学・就職につながる「生徒の力を伸ばす」取組の充実 事業終了後においても魅力化の取組が継続される校内の体制づくり 地域人材の活用など持続可能な地域との連携づくり 	今後の事業方針 ・地域と連携した学校の魅力化・特色化プロジェクトを推進するための、県教育委員会指導主事の学校訪問による指導・助言 ・中学生に選ばれる学校づくりをさらに進めるための、県教育委員会による市町村教育委員会訪問				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	私立幼稚園運営費補助		事業期間	昭和45年度～平成 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	
	A			事業実施課(室)名	こども未来課		施策区分	信頼される学校づくりの推進
総合評価	継続・見直し				評価者	こども未来課長 二日市 聖子		

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	児童及び保護者のニーズが多様化する中で、教育の質の向上と個々の児童に合わせた個性豊かな私学教育が求められている。	事業の目的	私立幼稚園の教育条件の維持向上、保護者負担の軽減、学校経営基盤の健全性確保を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①私学振興費 運営費補助(一般) 私立幼稚園への経常的経費に対する助成(31園) 特別支援教育費補助 心身障がい児の教育に必要な経費に対する助成(31園) 教育推進補助 預かり保育(29園)や子育て支援(22園)に対する助成 ※特別支援教育補助及び教育推進補助に係る経費は、幼稚園型認定こども園及び幼保連携型認定こども園も対象となる。	①	921,263	総コスト	966,492	985,569	894,846
	②	47,912	事業費	962,492	981,569	890,846
	③		(うち一般財源)	796,708	801,799	738,386
	④		人件費	4,000	4,000	4,000
②施設型給付費(H27～) 子ども・子育て支援新制度に移行した私立幼稚園への補助(6園)	計	969,175	職員数(人)	0.40	0.40	0.40

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	私学振興費の補助対象である私立幼稚園数(園)	目標値		33	31	25		95%	目標値						a
実績値			33	31			実績値								
達成率			100.0%	100.0%			達成率								
目標値			5	6	7		5%	目標値							
実績値			5	6				実績値							
達成率			100.0%	100.0%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
私学振興費の補助対象である幼稚園に通う園児数(人)	目標値		4,589	4,442	3,782		a	本事業の実施により、保護者負担の軽減を図り、学校経営の健全性を確保するとともに、児童の教育条件の維持向上に寄与した。
	実績値		4,778	4,644				
	達成率		104.1%	104.5%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 教育の質の一層の向上 保護者負担の軽減、幼稚園人材の確保 ※平成27年度に子ども・子育て支援新制度がスタートし、29年度は3園が認定こども園に、2園が施設型給付施設へ移行するため、私学振興費による助成件数は減少	今後の事業方針 <ul style="list-style-type: none"> 私立幼稚園が公教育に果たす役割の重要性に鑑み、事業を継続 幼児教育の段階的無償化への対応及び幼稚園教諭の処遇改善の実施 				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	私立幼稚園保育料減免補助		事業期間	平成 1 2 年度 ~ 平成 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造	
				施策区分	信頼される学校づくりの推進			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	こども未来課		評価者	こども未来課長 二日市 聖子	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	私立幼稚園の保育料は公立と比較して約2倍の差があり、私立幼稚園に在園する保護者の負担は大きい。	事業の目的	私立幼稚園に子どもを2人以上通わせている保護者の教育費の負担を減らすことで、より多くの子どもを安心して産み育てられるように、私立幼稚園が実施する保育料減免補助事業に要する経費の一部を補助する。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①私立幼稚園保育料減免補助 私立幼稚園設置者が行う保育料減免事業に要する経費の一部を補助(18設置者、418人)	①	11,130	総コスト	11,400	11,945	10,480
	②		事業費	10,400	10,945	9,480
	③		(うち一般財源)	10,400	10,945	9,480
	④		人件費	1,000	1,000	1,000
	計		11,130	職員数(人)	0.10	0.10

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
			目標値	実績値	達成率					目標値	実績値	達成率			
補助対象者数(団体)		100%	20	19	16										a
			18	18											
			90.0%	94.7%											
			目標値						目標値						
			実績値							実績値					
			達成率							達成率					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
			目標値	実績値	達成率			
2人以上在園する場合の公私立の納付金格差(倍)		a	1.93	1.67	1.19		a	本補助金により保護者の負担が軽減されており、少子化対策の観点からも、2人以上子どもを持つ保護者の負担を軽減することは意義が大きい。
			1.67	1.19				
			115.6%	140.3%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・公私格差の縮減	今後の事業方針 ・平成29年度は、1団体が市町村から給付を受ける「施設型給付」へ移行するため、補助対象件数は減少するが、子育て世帯の負担軽減のため、引き続き事業を実施				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	私立学校運営費補助		事業期間	昭和45年度～平成 年度		政策区分	生涯にわたる力と意欲を高める「教育県大分」の創造
				施策区分	信頼される学校づくりの推進		
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	私学振興・青少年課		評価者	私学振興・青少年課長 森高 美代子

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	児童・生徒及び保護者のニーズが多様化する中で、学力など個々の児童・生徒に合わせた個性豊かな私学教育が求められている。	事業の目的	私立小学校、中学校及び高等学校の教育条件の維持向上及び経営の健全性の確保を図るとともに、魅力ある私立学校づくりを支援する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①運営費補助(一般) 私立学校の経常的経費への補助(19学校)	①	3,189,009	総コスト	3,227,328	3,284,424	3,384,134
②個性輝く私立学校づくり 学力向上・就職支援・文化・スポーツ等の取組への助成(14高等学校)	②	82,000	事業費	3,219,328	3,276,424	3,376,134
③過疎地域対策 過疎地域の私立高等学校への経常的経費の助成(2高等学校)	③	36,594	(うち一般財源)	2,765,021	2,814,813	2,877,429
④教育改革特別補助 スクールカウンセラーの配置などの教育改革の取組への助成(14高等学校)	④	8,400	人件費	8,000	8,000	8,000
	計	3,316,003	職員数(人)	0.80	0.80	0.80

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	私立学校数(校)	目標値	19	19	19			96%	過疎地域の私立高等学校数(校)	目標値	2	2	2		
	実績値	19	19					実績値	2	2					
	達成率	100.0%	100.0%					達成率	100.0%	100.0%					
個性輝く学校づくりに取り組む私立高等学校数(校)	目標値	14	14	14			2%	教育改革に取り組む私立高等学校数(校)	目標値	14	14	14		0%	
	実績値	14	14					実績値	14	14					
	達成率	100.0%	100.0%					達成率	100.0%	100.0%					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
私立小・中・高等学校に通う児童・生徒数(人)	目標値		9,981	10,030	10,211		a	公教育の一翼を担う私立小・中・高等学校の育成を支援することができた。
	実績値		10,030	10,211				
	達成率		100.5%	101.8%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・個性輝く私立学校づくりの一層の推進	今後の事業方針 ・私立学校が公教育に果たす役割の重要性にかんがみ事業を継続				